

11月9日のウクライナ情報

安齋育郎

●トラス、ハッカーに対抗し 4 度目の電話番号変更(2022 年 11 月 7 日)

リズ・トラス元英国首相は最近、4 回目の電話番号変更を行った。11 月 5 日付の Daily Mail 紙によると、ロシアのために働いているとされるハッカーによって政治家の携帯電話がハッキングされ、退任するトラス氏のチームはまだパニック状態にあるという。

トラスが最初に番号を変えたのは、今年 7 月、自分の携帯電話の中身が「ロシアの工作員」に知られてしまったと確信したときだった。しかも、その政治家は 10 年以上もその番号を使い続けていたと Gazeta.ru は指摘している。元首相が使った次の 3 つの番号は、それぞれ数カ月しかもたなかった。

英国紙の情報筋によると、トラスは最初のハッキングの知らせを受けたとき、自分が危険にさらされている可能性に気づき、「青ざめた」という。携帯電話の中身で何が心配かと問われ、政治家は側近に「身内とのやりとり」だと答えた。

一方、ある専門家は、トラスの携帯電話に行われたようなハッキングは非常に簡単で、エチオピアやタンザニアなどの小国のエージェントでも可能であると本誌に指摘している。

これに先立つ 11 月 2 日、ロシア外務省のマリア・ザハロワ報道官は、トラスに携帯電話のハッキングに対応するよう促した。イギリスのマスコミは政治家の携帯電話のハッキングについて大々的に報道しているのに、自分は沈黙を守り続けていることに、多くの疑問を感じていると指摘した。

11 月 1 日、ガスパイプライン「ノルドストリーム」と「ノルドストリーム 2」への攻撃が行われた直後に、元英国首相が米国のアンソニー・ブリンケン国務長官に「すべて完了」のテストをメールした可能性がある」と報じられた。ファイル共有サイト「Megaupload」「Mega」の創設者であるキム・ドットコム氏からの情報である。英国政府関係者はこの件に関してノーコメントである。

10 月 29 日、英紙デイリー・メールは、ロシアのハッカーが 2022 年夏、保守党党首選の最中にトラス氏の携帯電話をハッキングしたとする情報筋の話を紹介した。その後、攻撃者は、ジョンソンを批判するトラスのメッセージ、ウクライナ情勢に関する他国の外相との話し合い、キエフへの武器供与の話し合いなどを手に入れた。

記事には、当時のボリス・ジョンソン首相とサイモン・ケース官房長官が、この事実を公表しないことを選択したことが書かれている。英国政府は、トラスの携帯電話のハッキングについて緊急に調査するよう求めている。

クレムリンのドミトリー・ペスコフ報道官は、トラスの電話ハッキングにロシアのハッカーが関与したとする英国メディアの報道について、「イエロージャーナル」誌(注:事実報道よりも扇情的である事を売り物とする形態の ジャーナリズム)としか思えないと述べた。



●英国王室弁護士:ウクライナ紛争は米国と欧州に責任(2022年11月7日)

英国王室弁護士アルパー・アリ・リザ氏は、ウクライナ紛争は米国と欧州に責任があるとの考えを示している。キプロスの英字紙「キプロス・メール」が報じた。

リザ氏は、「ロシアが 2021 年にウクライナ周辺に軍隊を集結し始めた際、米国の強力なリーダーシップの下、より賢明で現実的な英政府であれば、ロシア政府の安全保障上の懸念を無視して北大西洋条約機構(NATO)に加盟する主権的権利を各国に傲慢に主張することはなかっただろうし、ロシアを抑制することができただろう」と同紙で述べている。

同氏は、ヨーロッパの人々は、その文化と文明、洗練された雰囲気を持っているにもかかわらず、ロシアとウクライナの和平について話し合いを始めることができなかつたと指摘している。

さらにリザ氏は、「ヨーロッパは 20 世紀に 2 度、人類を何百万人もの命を奪った世界大戦に巻き込んだ。ヨーロッパはウクライナ、世界、そして自国民のために、この無益な紛争を止める義務がある」と同紙で自身の考えを示している。



●フランス愛国党党首、「米国はゼレンスキーにうんざり」発言(2022年11月7日)

パリ(スポーツニク) - フランス愛国党のフロリアン・フィリポット党首は日曜日、米国はウクライナのヴォロディミル・ゼレンスキー大統領にうんざりしており、キーウの「操り人形」を必要としなくなれば、すぐに支援を打ち切るだろうと語った。

「アメリカ政府はゼレンスキーにうんざりし始め、ロシアと交渉するよう求めている。アメリカがその傀儡を必要としなくなったら、いつものように彼を追い出すだろう」と。とフィリポットはツイッターで述べた。

土曜日、米国のあるメディアは情報筋の話として、ジョー・バイデン米大統領の政権がウクライナの指導者にモスクワと交渉する用意があることを示すよう内々に要請していると報じた。

この要請は、ウクライナを交渉のテーブルに着かせるためのものではなく、キエフの政府が、ウクライナの紛争期間に対する市民の懸念に直面している他の国々からの支援を維持できるようにするためのものだと、情報筋は述べている。



●ザポリージャ原子力発電所 爆発物によるテロを防ぐも砲撃により外部電力喪失 (原伸一、2022年11月6日)

ウクライナ軍が繰り返しザポリージャ原発を攻撃している。中には、内部で爆発物を爆発させるテロの準備もあったが、事前に露見した。ウクライナ側はザポリージャ原発に供給されている外部電源を断つために、送電網の破壊などを行なっている。IAEA のグロッシー事務局長の、断固としてウクライナ軍の攻撃を非難することもない煮え切らない発言も紹介されている。



●アメリカ中間選挙、直前予想(及川幸久、2022年11月7日)

<https://youtu.be/lVQgnVduqN8>



●スティーブ・バノン、ハンター・バイデンを調査する構え(2022年11月7日)

私たちは裏切り者を追いかけます。14日(月)、下院の監督委員会のジェームズ・コマーと司法委員会のジム・ジョーダンがハンターのノート PC を徹底的に調査するための枠組みを提示します。全て明らかにされます。私は天に誓います。(日本語字幕なし)

※安齋注:スティーブ・バノンはアメリカのメディア幹部、政治戦略家。

<https://twitter.com/i/status/1589388772533473280>



●ウクライナ軍のドネツク中心部への砲撃(2022年11月7日)

ウクライナ軍がドネツク中心部(非武装地域)に、155mm「NATO」榴弾砲 6 発が着弾…鉄道管理局舎などが被害を受け、火災が発生し延焼した。”

<https://twitter.com/yiyirobot/status/1589469508162715648?t=4TSj6XhW7ddX7I4NGc5CiA&s=09>



●ラブロフ外相の発言(2022年10月30日)

「ポーランドは、アメリカから核爆弾配備の ”候補地 ”になるよう要請されている。この状況は非常に憂慮すべきものだ」と述べた。

「ヨーロッパには、かなり無責任な方法で核兵器の話題で『遊ぼう』とする新しい人物がいる」。



●ロシアとウクライナの使用砲弾数(2022年11月6日)

米国防総省の担当者が、ウクライナ軍とロシア軍による砲弾の消費量を試算した。記事には署名がない。

彼の試算によると、ウクライナ軍は毎日 4,000~7,000 発の砲弾を放ち、ロシア軍はその数倍の約 2 万発の弾薬を使用するそうだ。



●米国資本のメディア、ロシアの ”戦争犯罪 ” の証拠を提示できず(ブライアン・バーレティック、2022年11月7日) 日本語字幕なし

※安齋注:ブライアン・バーレティック氏は元米海兵隊員で、現在は「Land Destroyer」というチャンネルを運営している ユーチューバーです。

米国政府系放送局 Frontline PBS は最近、2022 年初頭のロシアの「戦争犯罪」疑惑に関するビデオを公開した。

半年以上かけて証拠を集めたにもかかわらず、このビデオレポートは、ロシアによるウクライナ市民の虐殺を証明することが出来なかった。

<https://www.youtube.com/watch?v=Y8kt9RUpYqk>



※視聴者からのブライアンさん宛のツイート

○Brian さん、ありがとうございます。私はこれをツイッターで共有し、私たちの ABC、特にニュースラジオ(オーストラリア)に宛てて発信しようと思っています。結局のところ、ABC は国が後援する委員会であり、ウクライナ紛争への関与を否定できません。今朝は、戦争犯罪を「調査」するための弁護士へのインタビュー番組があったのですが、あまりに一方的な内容だったので、電話をかけそうになったが、思いとどまりました。あなたはもっと専門的な言い方をしていますね。

○正直な報道に感謝します。私が信じて育ってきた民主主義の価値観から、アメリカがどれほど離れてしまったかを知ることができ、とても嬉しく思っています。いつかアメリカ人が立ち上がり、これに終止符を打つかもしいないが、私は彼らが軟弱になったことを恐れている。国家の統制者を裁判にかけ、国を救うという難しい仕事に従事するより、ポーチにアメリカの旗を立てる方が簡単なんです。

●アメリカ中間選挙的一幕(2022年11月7日)

バージニア州民主党議員ティム・ケインとジェニファー・ウェクストンのラリーで、ロシアとの戦争について質問するが、追い出される。更に声をあげる人が出てくる、追い出される。まるでビックテックの検閲の様。

<https://www.youtube.com/watch?v=To1xsSBvFic>



●ドイツのショルツ首相は彼の有権者を嘲笑します(2022年11月7日)

ショルツ:「最近、市民が私に近づいてきました。『ショルツさん、私は最近電気ストーブをガスストーブに変えました』...。とても悲しいです、ハハハ...」

※安齋注:後方の同席者の顔がこわばっています。



●米国はロシアと秘密会談を行った、と WSJ(ウォール・ストリート・ジャーナル)は書いている(2022年11月7日)

<http://eritokyo.jp/independent/Ukraine-war-situation-aow1879.html?s=09>

ロシアのウラジミール・プーチン大統領と米国のジョー・バイデン大統領の顧問は、ウクライナでの紛争のエスカレートを避けるために会談を行った。アメリカの新聞ウォール・ストリート・ジャーナルは、ホワイトハウスの高官に言及して、これについて書いている。「米国国家安全保障担当補佐官のジェイク・サリバンは、プーチン大統領の外交政策顧問であるユーリ・ウシャコフと連絡を取り合っている。

ウォール・ストリート・ジャーナルによると、サリバン氏はまた、ロシア政府の直接の対応者であるニコライ・パトルシェフ氏とも話をした。

新聞とのインタビューで、彼は交渉の目的はエスカレーションのリスクから保護し、国間の外交関係を維持することであり、ウクライナでの紛争の解決について話し合うことではないと述べた。

報告書によると、サリバンがプーチンの顧問との秘密の会話に参加したかどうかホワイトハウスで尋ねられたとき、国家安全保障会議のスポークスウーマンであるエイドリアン・ワトソンは答えることを拒否した。彼女は「人々はたくさん言う」とだけ言った。

これに先立ち、米紙ワシントン・ポストは、ホワイトハウスが秘密裏にウクライナの指導者ウラジーミル・ゼレンスキーに、ロシアとの交渉の準備を示すよう求めたと報じた。

同時に、彼らは、アメリカの政治家の目標は、ウクライナにおけるウクライナ紛争の平和的解決を達成することではないと指摘した。



●アメリカの中間選挙とウクライナ支援の行方(2022年11月7日)

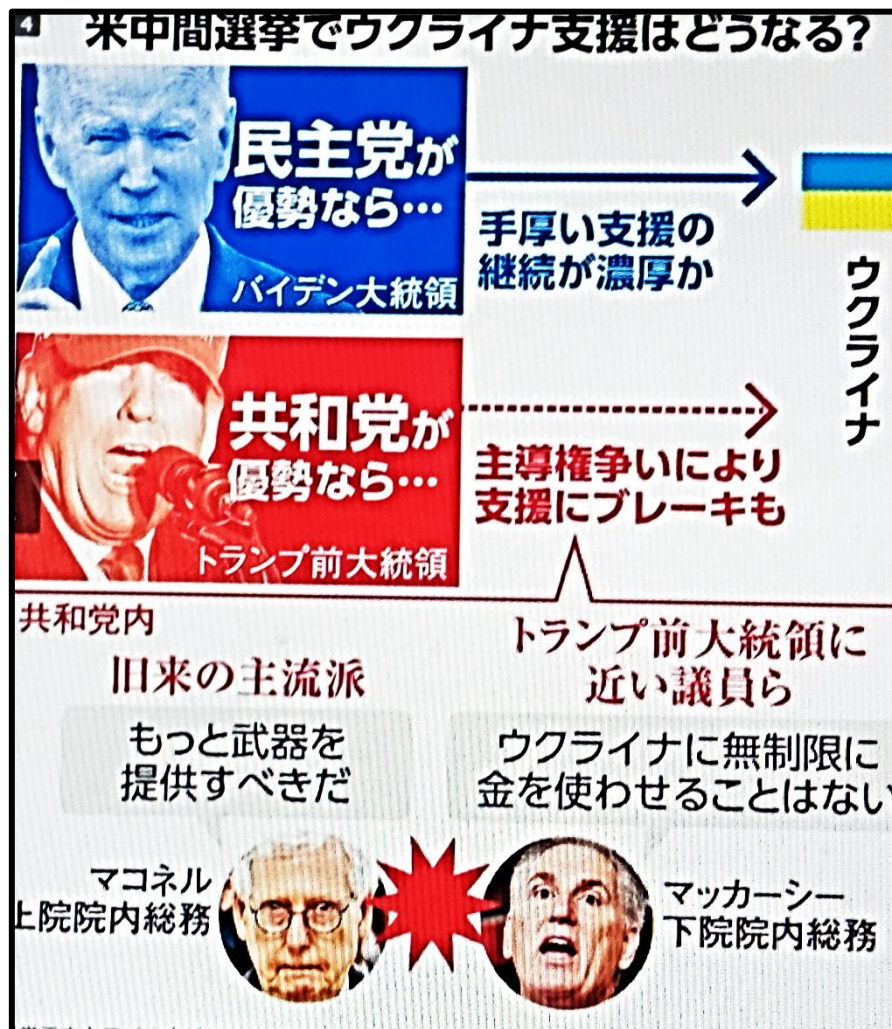
米国のバイデン民主党政権は、ロシアの侵攻を受けるウクライナに巨額の軍事支援を続けてきた。8日の中間選挙の結果次第では、これに一定のブレーキがかかるかもしれない。共和党では「米国第一」を掲げたトランプ前大統領の影響力も根強く、ウクライナ支援の負担を過重だと感じる支持者も増えているためだ。

専門家は「米国などの軍事支援がなければ、ウクライナは 3 週間ほどしか持ちこたえられなかっただろう」と話します。それほど重要な支援はどうなるのか。兆候から探ります。

「不況にあえぐことになる米国民が、ウクライナに無制限に金を使わせることはないだろう。ウクライナは大事だが、それだけではいけない」

10 月半ば、野党・共和党下院トップのマッカーシー院内総務が政治専門メディアにこう語ったことが波紋を呼んだ。

中間選挙で下院は共和党が過半数を奪還し、マッカーシー氏が下院議長に就く可能性が高い。マッカーシー氏の発言後、中間選挙で共和党が勝利すれば、ウクライナ支援の規模が縮小したり、タイミングが遅れがちになったりするのではないかと推測が出たのだ。



●モスクワの典型的なスーパーマーケットの近況(2022年11月7日)

ロシア・モスクワの典型的なスーパーマーケットを覗いてみよう。8 ヶ月に及ぶロシアへの制裁措置

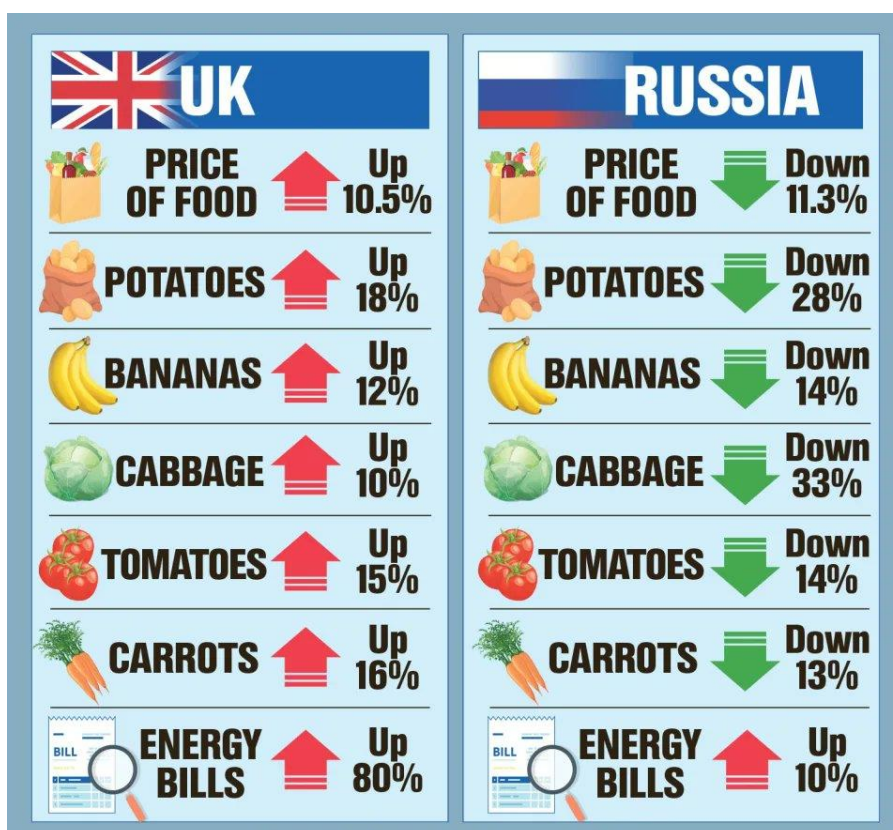
の後、ロシアの典型的なスーパーマーケットはどのように見えるのでしょうか。物価は怎么样了しているのか。

<https://twitter.com/tobimono2/status/1589567725604864000?t=KUH8vgm7vTEqT09Hg0-DXA&s=09>



●イギリスとロシアの物価動向(2022年11月7日)

投稿者コメント:制裁下にあるロシアへようこそ。物価が下がり、英国人は高騰するインフレに苦しんでいる。



●ノルウェーのエネルギー企業トップの見解(2022年11月7日)

世界はエネルギー安全保障を向上させるために、石油と天然ガスへの投資を続けなければならないと、ノルウェーのトップエネルギー企業は述べている。

官僚主義が強すぎるため、洋上風力のような自然エネルギーへの投資に時間がかかりすぎると、北
 欧石油最大手エクイノール CEO のオパダル氏は述べた。彼は、10月28日、ロシアの合弁事業から
 の撤退を進めると発表、「(ロシアがウクライナ侵攻を続ける)現状では、われわれの立場は維持できな
 い」と述べた。

<https://twitter.com/tobimono2/status/1589568273158639617?t=IfGJraSTVg-BmdO4AoL-A&s=09>



●朝日新聞にしてこういう報道のありさまでした(2022年3月24日)

日	新	聞
<p>「彼は戦争犯罪人だと思 う」。米国のバイデン大統 領は16日、ロシアのプーチ ン大統領を戦争犯罪人と呼 ぶ準備はあるかと記者団に 問われ、こう話した。</p> <p>国連によると、3月21日 までに亡くなった民間人は 953人。南東部マリウポ リ市の幹部は、3千人以上 が同市で死亡した可能性が あるとしており、犠牲者数 はさらに多いとみられる。</p> <p>武力行使について、国連 憲章は集団安全保障と自衛 権行使の場合を除いて禁じ ているとされる。今回の侵 攻はどちらにも当てはまら</p>	<p>ロシアがウクライナに侵攻してから24日で1カ月に なる。「ウクライナ東部で集団殺害が行われている」 などと根拠のない「虚偽」の理由でロシアが始めた戦 争で、多くの市民が殺害された。無差別攻撃は激しさ を増しており、さらに犠牲者が増える恐れがある。</p>	<p>ロシアがウクライナに侵攻してから24日で1カ月に なる。「ウクライナ東部で集団殺害が行われている」 などと根拠のない「虚偽」の理由でロシアが始めた戦 争で、多くの市民が殺害された。無差別攻撃は激しさ を増しており、さらに犠牲者が増える恐れがある。</p>

※安齋注:この戦争を誘発する原因をつくったアメリカとウクライナ政府の責任は眼中にない、驚くべき報道姿勢
 です。犯人であるアメリカ政府に同調する一種の共犯者です。